

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
証券コード	4462
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.unicon.co.jp/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主ご優待情報

弊社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

- 対象 決算期日（3月31日）時点の当社株主名簿に記載された500株以上保有の株主の皆様
- 内容 株主総会終了後（6月末～7月初旬）、次の基準の保有株式数に応じて、グルメギフトを贈呈させていただきます。

保有株式数	優待内容
500株以上1,000株未満	グルメギフト（3,000円相当）
1,000株以上	グルメギフト（10,000円相当）

インターネットホームページアドレス
<http://www.unicon.co.jp/>



第74期

中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

石原薬品株式会社

株主の皆様へ



平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成23年9月30日をもって、第74期の上半期を終了いたしましたので、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできますよう、業績の向上に全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 竹森 莞爾

事業の概況

上半期におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞を脱し回復の途上にはありますが、欧州の債務問題への懸念などから米欧景気の減速など世界経済の変調が新たな不安として浮上してきており、円高の進行や長期化、株式市場の低迷などが続き先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、電子関連分野の金属表面処理剤の輸出を中心に旺盛な需要があり伸びを示しました。この結果、上半期の業績は、売上高7,844百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益382百万円（前年同期比32.5%減）、経常利益401百万円（前年同期比30.6%減）、四半期純利益は249百万円（前年同期比93.2%増）となりました。

セグメント別の業績の概要

（電子関連分野）

電子関連分野が対応する電子部品業界は、震災からの復旧により生産は回復してきておりますが、世界的な景気後退への警戒から需要回復ペースに陰りが出てまいりました。

①金属表面処理剤及び機器等

金属表面処理剤の国内市場は、震災によるユーザーの生産の停滞、海外工場への生産移管などがあり完全には回復に至っていない状況であり、また、海外市場にも共通する状況として薄型テレビ、パソコン等の販売の低迷による在庫のたづつきから電子部品・半導体の需要が減速し対応するめっき液の需要が低迷しました。一方、海外市場は、このような状況がありますが拡大するスマートフォン等の需要増に関連し、台湾・韓国ユーザー向けにシリコンウエハーバンプ用めっき液の需要は大きく伸びました。また、化成処理液自動管理装置は、海外を中心にプリント基板、タッチパネル等スマートフォン関連の生産工程に多く採用され受注を伸ばしました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、4,025百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

②電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況もあり需要は低調に推移しましたが、機能材料加工品は、半導体製造装置業界向けの部品需要増により伸びました。この結果、電子材料の売上高は、714百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

（自動車用品分野）

自動車用品分野は、ガソリンスタンドの統廃合によるガソリンスタンドの減少、事故率低下、補修に対する価値観の変化等で市場規模の縮小傾向が続いておりますがOEM商材のエアコン洗浄剤、補修用コンパウンドの拡販等を促進した結果、売上高は、865百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

（工業薬品分野）

工業薬品分野は、対応する鉄鋼分野において、特殊鋼、高級鋼の需要が旺盛に関連する薬剤の需要は堅調に推移しましたが、化学関連の海外向け塩ビ触媒は、円高等不振で低迷しました。この結果、売上高は、2,239百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

なお、通期の業績予想については、下表のとおりとなります。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	15,400	8.4	650	△29.6	700	△26.0	450	△1.8	60.32

貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当第2四半期末 (平成23年9月30日)	前期末 (平成23年3月31日)
資産の部			
流動資産		8,902,601	8,979,638
固定資産		8,271,334	7,967,425
資産合計		17,173,936	16,947,064
負債の部			
流動負債		3,271,353	3,101,321
固定負債		523,911	526,980
負債合計		3,795,265	3,628,301
純資産の部			
株主資本		13,646,853	13,546,289
資本金		1,447,280	1,447,280
資本剰余金		1,741,909	1,741,909
利益剰余金		10,457,853	10,357,183
自己株式	△ 190		△ 85
評価・換算差額等	△ 268,182		△ 227,526
純資産合計		13,378,671	13,318,762
負債純資産合計		17,173,936	16,947,064

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当第2四半期累計 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高		7,844,784	7,272,020
売上原価		5,917,812	5,258,395
売上総利益		1,926,972	2,013,624
販売費及び一般管理費		1,544,480	1,447,223
営業利益		382,491	566,401
営業外収益		49,223	46,985
営業外費用		30,331	34,666
経常利益		401,383	578,720
特別利益		67	199
特別損失		15,314	253,092
税引前四半期純利益		386,136	325,827
法人税等		136,260	196,497
四半期純利益		249,876	129,330

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当第2四半期累計 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期累計 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		391,784	492,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 313,778		△ 258,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 186,441		△ 90,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,960		△ 13,904
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 111,395		129,049
現金及び現金同等物の期首残高		4,136,687	3,738,322
現金及び現金同等物の四半期末残高		4,025,291	3,867,372

財産及び損益の推移

業績の推移

●売上高 (百万円)



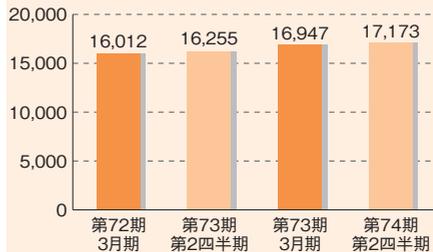
●経常利益 (百万円)



●純利益 (百万円)



●総資産 (百万円)



事業分野別売上高

(単位：千円)

事業分野	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
電子関連分野	4,739,878	60.4%	4,272,346	58.8%
(内訳) 金属表面処理剤及び機器等	4,025,756	51.3	3,407,732	46.9
電子材料	714,121	9.1	864,613	11.9
自動車用品分野	865,709	11.0	829,074	11.4
工業薬品分野	2,239,197	28.5	2,170,599	29.8
総合計	7,844,784	100.0	7,272,020	100.0

会社の概況 (平成23年9月30日現在)

■会社概要

商号 石原薬品株式会社 資本金 14億4千7百28万円
 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD. 従業員数 190名

創業 明治33年4月15日

設立 昭和14年3月3日

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

■事業所

本社 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
 東京支店 東京都台東区台東2丁目26番11号
 滋賀工場 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

■役員

代表取締役社長	竹森莞爾	常勤監査役	福田英章
代表取締役専務取締役	時澤元一	常勤監査役	山島一延
常務取締役	松村伊佐雄	監査役	菱田正登
常務取締役	浅野真司	監査役	岡本茂登
取締役	酒井保幸		
取締役	大竹祥司		
取締役	工藤富雄		

■株式の状況

- ① 発行可能株式総数 15,650,000株
 ② 発行済株式総数 7,460,440株
 ③ 株主数 1,981名
 ④ 単元株式数 100株

⑤ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
石原薬品取引先持株会	千株	%
日本生命保険相互会社	476	6.3
株式会社三井住友銀行	379	5.0
石原薬品従業員持株会	346	4.6
株式会社みずほコーポレート銀行	237	3.1
株式会社池田泉州銀行	223	2.9
株式会社池田泉州銀行	219	2.9
第一生命保険株式会社	211	2.8
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	158	2.1
川村邦子	156	2.1

(注) 持株比率は自己株式(191株)を除いて計算しております。